

ちっちゃいものくらぶ

スカシカシパン(さん)

タコノマクラ目スカシカシパン科に属するウニの一種。タコノマクラ目ってのもすごいけど、「え〜、ウニだったんだあ!」とびっくり。

子どもの頃、海に行くと、泳ぎはそちのけで浜辺に落ちている面白いものを探していた。

スカシカシパンさんもその仲間の一人。

これを見つけた時はすごいいいものをゲット!と喜んでた。みんなも一度は見たことがあるんじゃない?



〈何を食べてるの?〉

砂の中のデトリタス。そもそも、そのデトリタスってなんだ?

それはね、生物や微生物の死骸や排泄物をもととする小さな有機物粒子のこと。

〈天敵〉甲殻類や魚類

〈英語名〉sand dollar 形がコインに似ていることからついたらしいです。

〈使い道〉ウニの仲間だけど、食用にはならない。その理由は次のとおり。

- ①私たちが食べてるウニとは違って、可食部の精巣や卵巣が大きいこと
- ②硬くて割るのがすごい大変なこと
- ③中身が食欲をそそらない黒緑色や暗褐色をしていること
- ④種類によってはヘドロのような異臭がするものがあること

こうして列挙してみると、さんざんだね〜。

カシパン類(スカシカシパン、タコノマクラなど)やブンブク類(ブンブクチャガマなど)は、ウニの仲間だけど、人間からみたら、畑の肥料として使われるくらいなんだって。

☆ここでまたまたすごい名前が出てきたでしょ?

カシパンさんのお友達は、なんでみんなこんなにユニークなんでしょう!ブンブクチャガマって「昔話かよ!!」って突っ込みたくなる。毛玉のような外見をタヌキに模して名づけられたらしいです。

タコノマクラさん



「へんな生きもの研究所」〜鳥羽水族館〜

ここにスカシカシパンさんが来た時、カシパンさんのスリット(切れ込みみたいなどこ)に何かかいた。楊枝でホジホジしたら、出てきたのはダキクモヒトデさん。

この子はスカシカシパンやタコノマクラに共生するクモヒトデの一種。大型のオスと小型のメスが口と口を合わせて抱き合いながらカシパンさんのスリットやタコノマクラさんの口のあたりに付着する面白い習性をもつそうです。